

令和6年度 第1回岡山市特別職報酬等審議会 会議録(概要)

日時:令和6年9月5日(木)16:00~17:10

場所:ほっとプラザ大供2階 第2研修室

出席者:委員 阿部会長, 森会長職務代理者, 井上委員, 奥富委員, 鶴身委員, 那須委員,
平松委員, 藤原委員, 八巻委員, 山本委員

岡山市 大森市長, 中原総務局長, 池田議会事務局長, 岡田議会事務局次長, 生崎
人事部長, 藤原議会総務課長, 河本給与課長, 藤本総務法制企画課長 他

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 委員等の紹介
4. 会長の互選及び会長職務代理者の指定
5. 会長及び会長職務代理者あいさつ
6. 諮問
7. 議事

【委員からの主な意見】

- ・ 同じレベルの自治体と比較した場合、議員報酬と政務活動費を足した額で言うると低いとは思わない。また、議員報酬の額だけでは判断が難しく、公正公平に審議するため、年金、手当など、その他の収入の情報も欲しい。
- ・ 前回の審議は据え置きの方申したが、今回引き上げるとするならば、その金額まで審議会で答えを出すのか。そうであれば次のような資料、数字があればよいと思う。政務活動費は活動範囲の大きさによるだろうが、一つの見方として人口と議員定数がある。議員定数の推移とともに、議員1人当たりどれぐらいの市民の代表になっているのかが知りたい。
- ・ 当事者である各会派は政務活動費についてどういう意見を持っているのか知りたい。
- ・ 紙が値上げされており、市民向け広報のための資材費が上がっているだろうが、会派によっては交付額に対する執行率が8割から9割で収まっているところもある。物価高騰は厳しいが、執行しなかったものを値上げ分に充てればよいのではないかと。
- ・ 政務活動費が32年間上がっていないとのことだが、その間の物価高は反映されておらず、そろそろ見直しをすべき時期だろう。
- ・ 旅費について、交通費の値上がりを実感しているが、議員がどれぐらい交通機関を利用して出張しており、料金がどのくらい上がってきているか数字を知りたい。
- ・ 会派の規模による政務活動の費用対効果を知るため、会派ごとの人数を出してほしい。

- ・ 今後人口が減少していくと思われるが、現在の報酬・手当の状態で政務活動がどれくらい滞っており、支障が出ているのか確認したい。
- ・ 物価上昇で活動に支障が出ているとのことだが、広報に関して、SNSの活用、掲示板でのPR、また回覧型にするなど、工夫しているのか知りたい。
- ・ 物価高騰等に伴う経費の増加分、政策形成機能の向上にどれだけ費用がかかったのか、また旅費の組み替え分について資料をまとめてほしい。

8. 閉会